

電卓の指定された答えについて

小数第2位まで。

1. 2345 → 小数第3位で四捨五入を行う。従って、1. 23~~4~~ となり
答え 1. 23 となる。

これを電卓で指定するには、

Shiftを押して、画面に**S**が表示された状態で、**MENU**ボタンを押す。(SETUP 機能を使う)

3 : 表示桁数 → 1 : 小数点以下桁数 (Fix) → 小数点以下桁数 : 0~9 を選択

今回は、小数第2位なので、小数点以下桁数は「2」なので、数字ボタン **2** を押す。

小数第3位まで求めなさい。となると、

Shift → **MENU** → **3** → **1** → **3** となる。

最後の**3**が
小数第3位までということになる。

有効数字3けたまで。

12345 → 有効数字3けたとなると 0.00×10^0 という形が有効数字表示である。
この場合、

1. 23×10^4 となる。

13579 を有効数字3けたとすると、

1. $35\cancel{7} \times 10^4$ となるわけだが、

$\times 10^0$ の前が
3けたなので、有効数字3けた
という。

4けた目「7」で四捨五入をする必要があるため、答えは、 1.36×10^4 となる。

これを電卓で指定するには、

Shiftを押して、画面に**S**が表示された状態で、**MENU**ボタンを押す。(SETUP 機能を使う)

3 : 表示桁数 → 2 : 有効桁数 (Sci) → 有効桁数 : 0~9 を選択

今回は、有効数字3けたなので、有効桁数は「3」なので、数字ボタン **3** を押す。

これが「有効数字4けた」まで求めなさい。となると、

Shift → **MENU** → **3** → **2** → **4** となる。

最後の**4**が
有効数字4けたまでということ
になる。

RAD モード

通常角度を表すものは、DEG（ディグリー）を用いて考えてきました。

ディグリー（度数法）とは、通常使う角度「度（°）」です。

30°、45°、60°、90°、120°、135°、180° といった表し方になります。

RAD（ラジアン）は、角度を表す考え方で、弧度法という。

（詳細は、電気基礎1の教科書P233参照）

ディグリーは「°」、ラジアンは「rad」で表します。

360° = 2π と表します。すなわち、その半分180° = π となります。

さらにその半分 90° = $\frac{\pi}{2}$ という表し方になります。

電卓には、表示方法を変えるほかに、角度の考え方を DEG ⇔ RAD と切り替えることができます。問題に合わせて、角度の考え方を切り替えることが必要です。

電卓では、通常は DEG です。画面に **D** が表示されている。

これを電卓で DEG ⇔ RAD を変更するには、

Shift を押して、画面に **S** が表示された状態で、**MENU** ボタンを押す。（SETUP 機能を使う）

2：角度単位 → 2：弧度法（R）

画面に **R** が表示されていれば、RAD モード。

DEG モードに変更する場合は、

同じ手順で、2：角度単位 → 1：度数法（D）

画面に **D** が表示されていれば、DEG モード。